



9/17 宮城民医連参加者のみなさん

9/17亘理町東郷



フオトスケッチ

震災から6ヶ月

元気です！松島医療生協 復興ニュース特別号発行



相談者が集中し、山田先生が血圧測定する場面も



介護相談センター
センター長 安部加代子

東松島市野蒜の「なるせの郷」で震災に遭いました。4mの津波にのまれて全身瓦礫の中を数百メートル流されました。その時の恐怖、臭い、味、寒さなどなど、言いようもない体験をしました。

もう駄目と何度か思いました

が、幸運にも生かされました。抜け殻のようになった私を、同僚の仲間が「生かされた命なので大事にして下さい」といたわってくれました。松島海岸診療所に全国から支援に来た方々がたくさん居て心強く感じました。人に見守られている、支えられている、一人ではないと励まされました。

でも、あの時は自分から話したり、挨拶など出来ない様なショック状態でした。この場を借りてお礼を言わせていただきたいと思います。一緒に居てくれる人がいることがこんなに心強いとは思いませんでした。

6ヶ月が過ぎ何とか自分を取り戻しました。仲間が居て、仕事があり、家族が居る生活にもどりました。最近私は何をするために生かされたのかを考えています。答えは見つからないのですが、日々考えてみます。

皆さんの支援に感謝します。いつか、どこかで、恩返しをしたいと思います。本当にありがとうございました。

(2011年9月11日付 復興ニュース特別号より)



先生に診てもらい安心しました



ポップコーンを抱えて